

親子バス見学会を開催しました  
中央アルプストンネル（山口）工事説明会が行われました

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、リニア中央新幹線が開業する2027年には大人になっていく子どもたち向けに開催した「親子バス見学会」などについてご紹介します。

問リニア対策課（☎内線214）

リニア市民の会

親子バス見学会

リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会では、将来を担う子どもたちに、リニアや鉄道関係施設の見学を通して、リニア中央新幹線への理解を深めていただくため、小学生対象の親子バス見学会を開催しています。

5年目を迎えた今年度は、7月30日に「山梨県立リニア見学センター」、11月26日に「京都鉄道博物館」の親子バス見学会を開催し、合わせて27組63人の方にご参加いただきました。

山梨県立リニア見学センター

山梨県立リニア見学センターでは、2003年に当時の最高速度を記録した試験車両の実物展示、超電導リニアのしくみや50年に渡るリニア開発の歴史などの各種展示物を見学し

たほか、リニア実験線での走行試験の様子も見学しました。時速500キロで走行するリニアが目の前を通ると、「速っ！」「すごい！」と声があがっていました。

参加いただいた方の感想をいくつか紹介しましょう。

○子どもたちから

○リニアが走っているところを見られてよかったです。

○リニアのしくみやぶつからない理由が分かったのでよかったです。

11年後が楽しみです。

保護者の方から

○子どもたちにとつては、将来リニアが走ると言われても話だけでは実感がなく、山梨に來なければわからない



屋外見学テラスからリニア走行試験を見学

かかったこともたくさんありました。子どもたちにとつて未来の中津川を見て考えられる一日になりました。



浮上走行をミニリニアで体験

○2027年、東京まで40分、名古屋まで10分。その恩恵を受けた生活がどう変わっているのでしょうか。せつかくならリニアがあるからこそその暮らし方ができていればいいなあとと思います。

京都鉄道博物館

京都鉄道博物館では、蒸気機関車から新幹線まで貴重な実物車両や、鉄道のあゆみなどの展示をはじめ、車両のしくみ、鉄道施設の体験展示などを見学し、鉄道の歴史や技術を幅広く勉強することができました。



本物の蒸気機関車が牽引する客車に乗車できるSLスチーム号

また、国指定の重要文化財である扇形車庫には蒸気機関車が並び、その横では本物の蒸気機関車が牽引する客車に乗車することもできました。

参加いただいた方の感想をいくつか紹介します。

○子どもたちから

○鉄道のことをよくわからなかったけど、今回行って分かったことがたくさんあり



列車を安全に走らせるしくみを体験

○いろいろな体験もできたので良かったです。いつかリニア中央新

幹線に乗ってみたい、電車の博士になりたいです。

保護者の方から

○子どもと一緒に体験したり見たりでき、貴重な時間を過ごすことができました。

○子どもと一緒に楽しみ、学べ、中津川市にもやってくるリニアに対して、より一層興味と関心が深まりました。

今後も、子どもたちの夢や希望をかなえるため、リニアの波及効果を最大限生かすことができる「まちづくり」に取り組みます。

中央アルプストンネル（山口）工事説明会

中央新幹線中央アルプストンネル（山口）の工事説明会が12月15日と17日に山口公民館で開催されました。説明会では、事業概要や工事概要、工事用車両の運行計画および安全対策、環境保全などについて説明がありました。

説明では、本線トンネルの工事区間4.7kmのほか、斜坑約0.3kmと施工（非常口）ヤード等の整備を行うこと、工期は2022（平成34）年12月までの予定であることなどが示されました。

また、工事用車両の安全対策として、通学時間帯を控えるなど運行時間帯の調整を行うほか、下校時には交通誘導員を信号のない横断歩道に配置する計画も示されました。